

兵庫県公立大学法人経営審議会（令和6年度・第54回）議事録

- 1 日 時 令和6年10月21日（月）15:00～17:00
- 2 場 所 神戸市西区学園西町8-2-1（兵庫県公立大学法人本部棟大会議室）
- 3 出席者

理事長	國井総一郎	兵庫県立大学学長兼副理事長	高坂 誠
芸術文化観光専門職大学学長兼副理事長	平田オリザ	副理事長兼事務総長	小川 佳宏
理事兼兵庫県立大学副学長	畑 豊	理事兼兵庫県立大学副学長	坂下 玲子
理事兼兵庫県立大学副学長	内田 勇人	理事兼芸術文化観光専門職大学副学長	川目 俊哉
理事兼副事務総長	陰山 晶彦	副事務総長	日下部雅之
委員（外部有識者）	石田 雅昭	委員（外部有識者）	井上 琢智
委員（外部有識者）	岡村 武和	委員（外部有識者）	片田 範子
委員（外部有識者）	西村 肇	委員（外部有識者）	藤嶋 純子
委員（外部有識者）	村上早百合	委員（外部有識者）	村山 滋
委員（外部有識者）	山本 裕之		
監事（非常勤）	東元 良宏	監事（非常勤）	岡本 俊二
兵庫県立大学副学長	草薙 真一	芸術文化観光専門職大学副学長	藤野 一夫

4 審議事項

(1) 兵庫県公立大学法人第三期中期目標に関する意見聴取について

事務局から、兵庫県公立大学法人第三期中期目標に関して、資料に基づき説明を行い、審議された。本審議会でもった主な意見は、県所管課に報告を行った。

（委員からの主な意見）

〔中期目標の内容全般〕

- とんがった内容がもう少しあった方がよい。グローバル化、学際的研究、産学官共創による社会課題解決等で大きな項目があった方がよい。
- 県立大学は、各キャンパスの個性をもっと出した方がよい。
- 中期目標の位置づけが、県の指示事項であり、その内容が抽象的になってしまうのであれば、大学としてどのように捉えるか、大学が自由に展開してよいと受け取ればよいのではないか。

〔育成する人材像〕

- リーダーの表現が、従来のトップダウン型ではなく、フォローシップが求められている。育成するリーダーについて、限定的な表記でない方がよい。

- 育成するのはリーダーである必要がないため、「人材」といった表記に変更してはどうか。
- 全員がリーダーになる必要はなく、少数のリーダーでもよいから出てきてほしい。
- 大学であるため、教員が学問をできる人を育成するのか、職業訓練をするのか。県立大学は、総合大学であるため、各学部のユニークさもあるが、学問連携体として、全学で人材育成をしているとあってよい。

〔その他〕

- 「兵庫の強みを生かした災害に強い地域づくりへの貢献」という表現に違和感がある。これまでの取組を記載していると思うが、「兵庫の経験を生かした」に変更してはどうか。

5 報告事項

- (1) 兵庫県立大学ビジョン2036について
事務局から、兵庫県立大学ビジョン2036について、資料に基づき報告を行った。
- (2) CAT VISION 2050について
平田学長から、CAT VISION 2050について、資料に基づき報告を行った。
- (3) 新長田ブランチについて
事務局から、新長田ブランチについて、資料に基づき報告を行った。
- (4) ルーマニアオフィスの設置について
事務局から、ルーマニアオフィスの設置について、資料に基づき報告を行った。

6 その他事項

- (1) 次回経営審議会開催予定について
事務局から、次回の経営審議会開催予定（令和6年12月20日（金））について説明を行った。

以上